

GIH ガーデンツアー2019のご案内

NPO 法人ガーデンアイランド北海道

- 【テーマ】 (仮称) 初夏の札幌近郊ガーデンめぐり — 小樽・仁木・定山溪
- 【日時】 2019年7月30日(火) 8時30分～17時30分
- 【目的】 ガーデンアイランド北海道の会員を対象に、いま話題のガーデンや新規に作られたガーデンを視察し、ガーデン関係者の交流を図る。
- 【行き先】 ①小樽市 旧国鉄手宮線跡地 (市民による花修景の取り組み視察)
②仁木町 NIKI Hills ヴィレッジ
(新たにオープンしたワーナリーとガーデンを見学)
③定山溪ファーム (オーチャードガーデン見学)
- 【参加人数】 25人 (中型バスで移動)
- 【参加費】 一人6,000円 (バス代、入園料、昼食代等)
- 【行程】

時間	行程
8:15	札幌駅(鐘の広場)集合
8:30	札幌駅出発
9:30	小樽市内「旧国鉄手宮線跡地」到着 北海道鉄道文化財保存会の方々による案内でプロムナードを散策
10:15	旧国鉄手宮線跡地出発
11:00	NIKI Hills ガーデン到着 ヘッドガーデナー福森氏の案内でガーデン散策 散策終了後、NIKI Hills で食事(お弁当)
13:00	NIKI Hills 出発 朝里川温泉・さっぽろ湖を經由して定山溪へ
15:00	定山溪ファーム到着 定山溪ファームのスタッフさんの案内でオーチャードガーデンなどを見学 その後自由行動(さくらんぼ狩りなど)
16:30	定山溪ファーム出発
17:30	札幌駅到着 解散

ガーデンツアーの訪問地の概要

①小樽市旧国鉄手宮線跡地

旧国鉄手宮線は幌内鉄道の一部として、明治13年に小樽・手宮～札幌を結ぶ北海道で最初の鉄道として開通し、石炭輸送など北海道開拓に重要な役割を担っていた鉄道ですが、我が国のエネルギーが石炭から石油に大きく転換していく中で、昭和60年に廃線となりました。

その後、小樽市では、旧国鉄手宮線の中央通りから寿司屋通りまでの延長約510メートルの区間を、平成13年度にJR北海道から購入し、オープンスペース、遊歩道として整備しました。オープンスペースは、「小樽がらす市」の会場や、小樽市の冬の代表的なイベントとなった「小樽雪あかりの路」のメイン会場の一つとしても活用されています。

その散策路をもっと魅力ある道にしようと、NPO北海道鉄道文化財保存会が中心となり、毎年そこに花を植え、景観づくりに取り組んでいます。今回は、保存会の方々のご案内で花修景について意見交換することになっています。

②NIKI Hills

広告会社DACグループが、仁木町の創生を目指し、2015年に立ち上げた農業生産法人NIKI Hills ヴィレッジが運営するワイナリーです。これまで、広大な敷地に、ワイナリーをはじめ、レストラン、ヴィンヤード、果樹園、ナチュラルガーデン、ナチュラルフォレストなどを整備してきており、いよいよ2019年7月7日（日）グランドオープンすることとなりました。

NIKI Hills 全体が一つの大きなガーデンと言えますが、その中にはプロのガーデナーが手掛けた本格的なナチュラルガーデンもあり、ワイナリーと一体となったガーデンの魅力をぜひ感じ取っていただきたいと思います。

当日は、NIKI Hills のヘッドガーデナーで、NHK「趣味の園芸」講師としても活躍していた福森久雄氏のご案内で園内をめぐる予定です。

③定山溪ファーム

定山溪ファームは、2016年に開業したまだ新しい施設で、道産子イチゴの「けんたろう」をはじめ、さくらんぼやブルーベリー、プラム、プルーン、ぶどう、りんご等様々なフルーツ狩りが楽しめるフルーツテーマパークです。また、ここではフルーツ狩りだけでなく、ツリートレッキングやジップライン、乗馬などのアクティビティが楽しめるほか、美しいガーデンも整備されています。

このガーデンの設計・施工を手掛けたのは、キタバランドスケープと苫小牧イコロの森の方たちで、いろいろなタイプのガーデンが傾斜地を上手に利用してつくられています。ここを運営している長谷川ファーム北海道の伊達弘恭社長によると、果樹園と一体となった本格的なオーチャードガーデンを目指したいとのことで、そうしたところも注目ポイント。周囲の国有林の深い山々を見渡せる立地環境も圧巻です。